



Allied Architects

2024年12月期第1四半期 決算説明資料

アライドアーキテクト株式会社

(東証グロース市場：6081)

2024年5月15日



2024年12月期は事業構造改革の1年として1Qから取り組みを開始。
海外事業(Creadits社)は2Qから売上回復を見込む

売上高

799 百万円

前年同期比△20.9%

営業損益

△**257** 百万円

前年同期は37百万円の利益

Topics 1

抜本的な事業構造改革の第一歩として、業績不振の海外事業(Creadits社)の経営体制を刷新

Topics 2

海外事業は「膿出し」段階。事業構造改革費により1Qは大幅赤字も、営業状況は良化傾向

Topics 3

国内は売上比率の最も大きいプロダクト事業が前年同期比+13.5%と堅調を維持。
ソリューション事業、クロスバウンド事業は季節性のマイナス要因が大きく影響し減収

期初段階

国内3事業の加速と海外事業の再構築

2024年
新方針

事業体制の再編により
グループ全体を構造改革

【業績開示に関する留意点】

事業構造改革後に新たな事業体に合わせて戦略・KPIを再度検討予定のため、
期初に開示した各事業の戦略方針は見直しとさせていただきます。

上期は下期以降の営業利益改善に向けて、事業構造改革費用の投資およびコスト構造の見直しを行うため、
当面各事業に関しては売上高のみを開示し、その他KPIは今後開示の方向で検討してまいります。

グループ全体の事業構造改革に伴い、2024年12月期3Qより
セグメント内におけるビジネス区分を整理し、下記の通り2事業への変更を予定

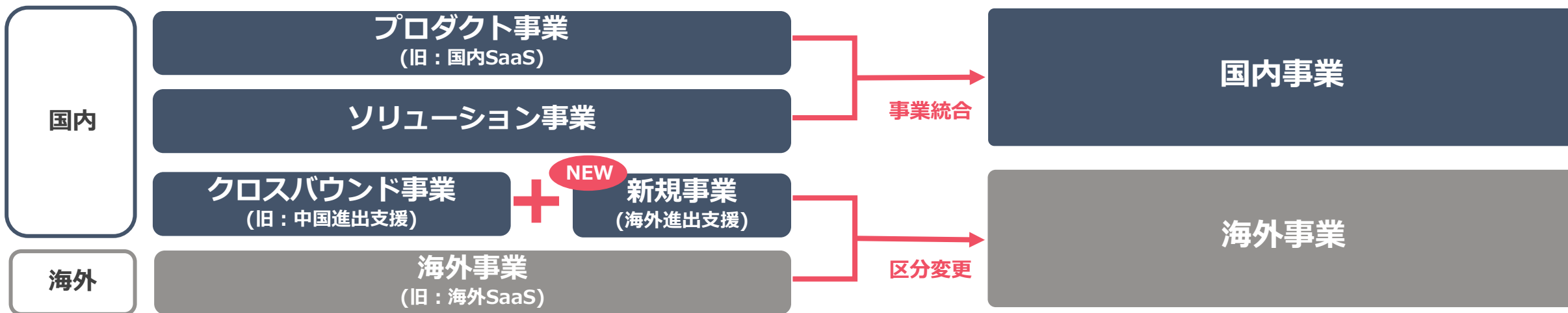
セグメント：マーケティングDX支援事業

2024年2Qまで

2024年3Q以降

事業名称

事業名称



- ✓ 事業シナジーの創出と重複コストの削減のため、プロダクトとソリューションは国内事業として統合
- ✓ クロスバウンドは新規事業として海外進出支援事業の開始(P.35参照)に伴い、海外事業に区分変更

1	事業概要	P.6
2	2024年12月期1Q業績	P.13
3	グループ方針・業績予想	P.18
4	各事業の状況	P.24

事業概要



1



Allied Architects

アライドアーキテクトという社名には「企画者、創造者（アーキテクト）」の「結びつき（アライド）」という言葉通り、「ただ与えられた仕事をこなすのではなく常に自分の頭で考え、古い部分は破壊し、創造し続ける」そういった人たちの集まりでありたい、という想いが込められています。



会社名	アライドアーキテクト株式会社 Allied Architects, Inc.
代表者	代表取締役社長 CEO 中村 壮秀
事業内容	マーケティングDX支援事業
所在地	東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル4階
設立	2005年8月30日
証券コード	6081（東証グロース）



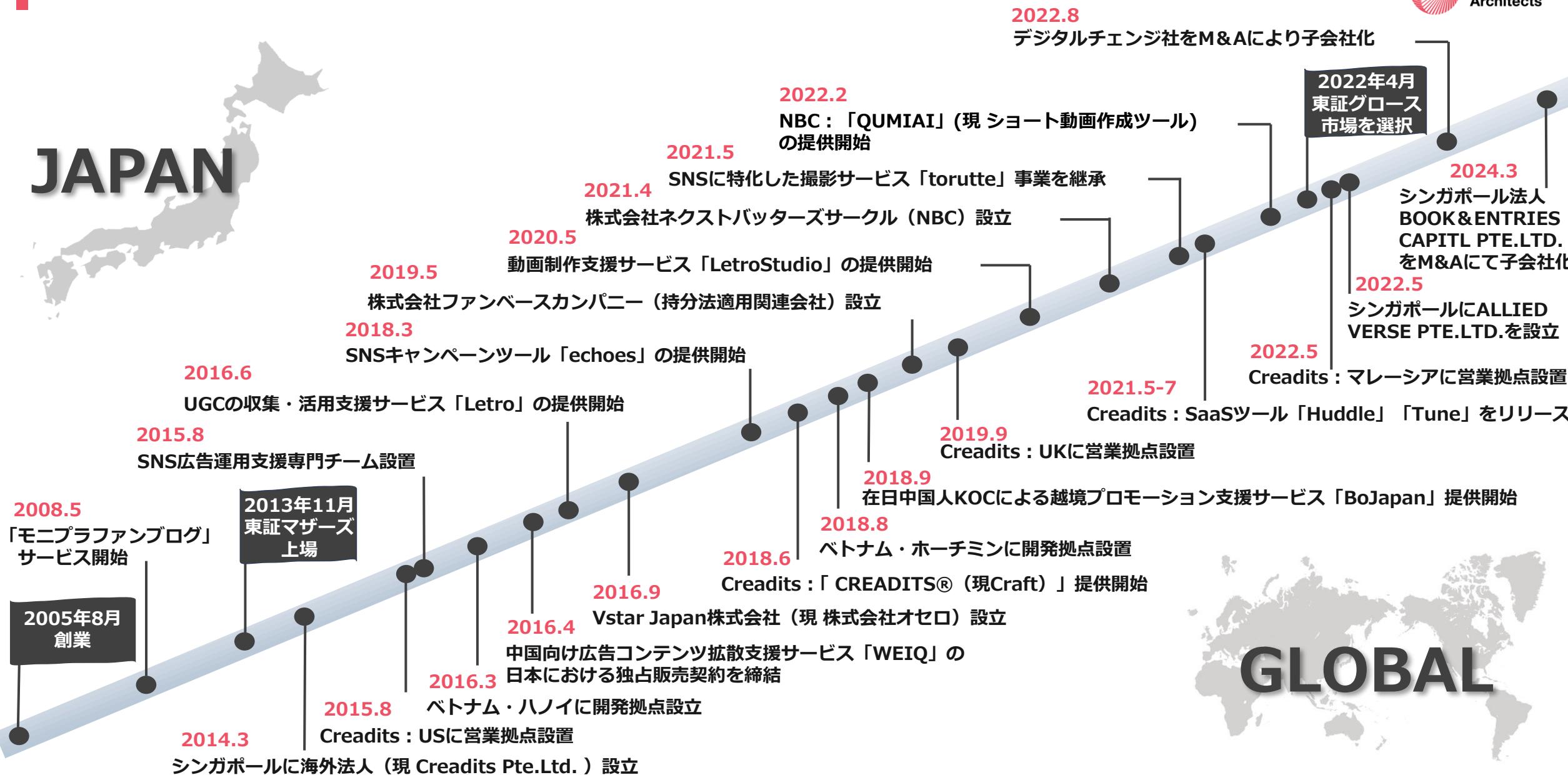
- 拠点数：8（日本1、海外7）
- グループ企業数：11社

（記載データはすべて2024年3月末時点）

JAPAN



GLOBAL



世界中の人と企業の創造がめぐる社会へ。

作る人、売る人、買う人、使う人。

それぞれが分断されていた社会で、

私たちは、世界中の人と企業をつないできました。



Allied Architects

これからは、そのつながりの先で、企業の創造が人々の創造を生み出し、それがまた企業へかえる「循環」が自然な形になっていくと考えます。

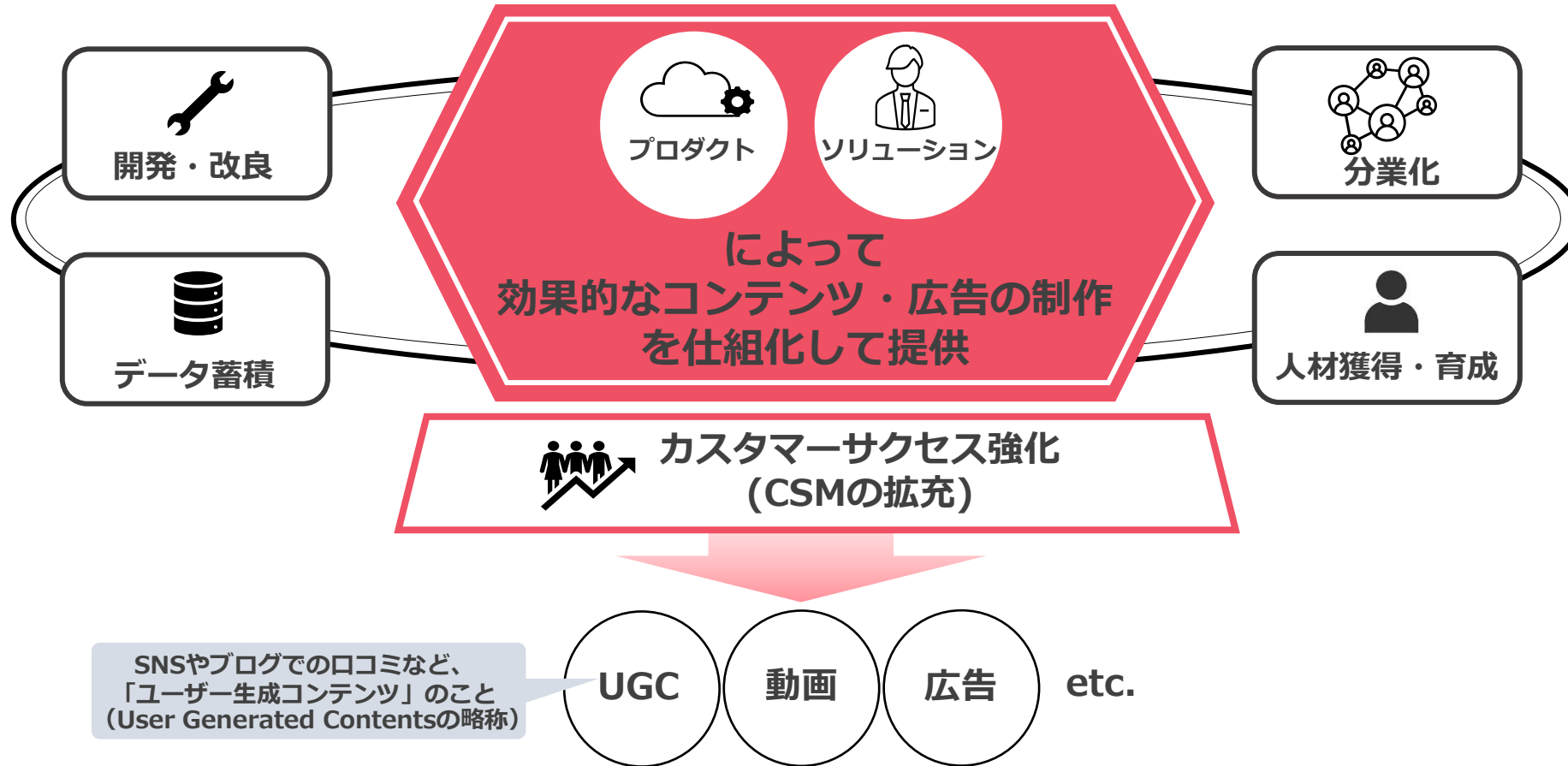
つながり、そして、めぐりへ。

アライドアーキテクトゥ・グループは人々の声や誰もが持つ創造力を

企業の価値へと変換し、循環させることで

人と企業と社会が、共に豊かになる世界を築きます。

マーケティングDXにおける『制作領域のイノベーション』を仕組化して提供



顧客メリット

- マーケティング人材・クリエイティブ人材を削減できる
- CVR※向上など売上拡大に直結する高い成果が得られる

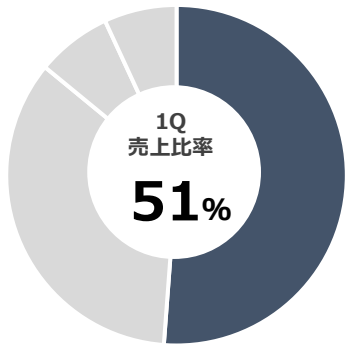
※CVR (コンバージョンレート) : 広告のリンクをクリックした数のうち、商品購入等の成果につながった比率

顧客企業の様々なマーケティング課題を一気通貫で解決する事業ラインナップ

セグメント：マーケティングDX支援事業

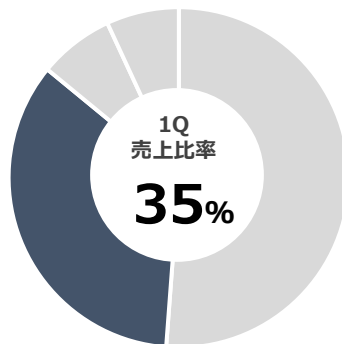
プロダクト事業

マーケティングDXを
加速する
自社開発のSaaSツールを提供



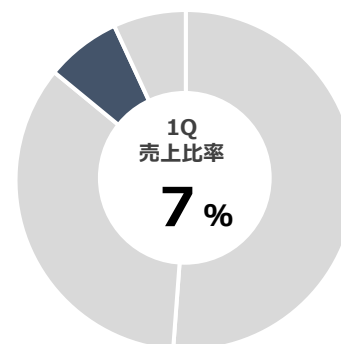
ソリューション事業

SNSやファンをキーワードに
マーケティングDX戦略を
包括的に支援



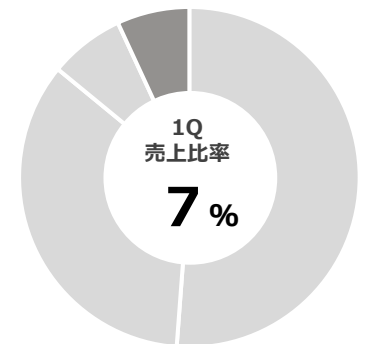
クロスバウンド事業

独自のインフルエンサーネット
ワークを活用したインバウンド支援
・中国向け越境EC支援



海外事業

グローバルなクリエイター
ネットワークにより、高品質な3Dの
広告クリエイティブを提供



持株比率



Allied Architects	Allied Tech Base (非連結会社)	Allied Tech Base Co.,Ltd. (ベトナム ハノイ)	100%	プロダクト	SaaSツールのオフショア開発拠点
	Allied Tech Camp (非連結会社)	Allied Tech Camp Co.,Ltd. (ベトナム ホーチミン)	100%	プロダクト	SaaSツールのオフショア開発拠点
	Creadits JP	Creadits株式会社 (東京都渋谷区)	83.9%	海外	Creadits社の日本法人 (中間持株会社)
	Creadits	Creadits Pte. Ltd. (シンガポール)	100% ※	海外	広告クリエイティブ制作プロバイダ (運営拠点) ※Creadits JP社の持株比率
	NBC NEXT BATTER'S CIRCLE	株式会社ネクストバッタースサークル (東京都渋谷区)	100%	ソリューション	ショート動画作成ツール「QUMIAI」を展開
	DIGITAL CHANGE	株式会社デジタルチェンジ (東京都目黒区)	51.0%	ソリューション	運用型広告支援(リスティング、ディスプレイ)
	fanbase company (持分法適用関連会社)	株式会社ファンベースカンパニー (東京都渋谷区)	44.9%	ソリューション	「ファンベース」の戦略策定・実行支援
	OTHELL ● ● オセロ ○	株式会社オセロ (旧Vstar Japan株式会社) (東京都渋谷区)	51.0%	クロスバウンド	中国本土向けインフルエンサーの育成・活用
	AlliedVerse	ALLIED VERSE PTE.LTD. (シンガポール)	100%	クロスバウンド	日本企業向けシンガポール進出支援事業
	NEW	BOOK&ENTRIES CAPITAL PTE.LTD. (シンガポール)	70.0%	クロスバウンド	会計業務支援サービス等を展開

2024年12月期1Q業績



2

海外事業(Creadits社)の売上高低迷を主因に、1Qは前年同期比△20.9%の減収。

Creaditsの事業構造改革に伴う費用が連結営業損益を圧迫も想定通りの着地

(百万円)	2023年1Q	2024年1Q	
		為替レート：1ドル=151.41円	前年同期比
売上高	1,010	799	△20.9%
営業損益	*38	△257	—
営業損益率	*3.8%	—	—
経常損益 ^{※1}	47 ^{※2}	△165 ^{※3}	—
親会社株主に帰属する 四半期純損益	*△1.8	△234	—

※1 当社単体で約10百万ドル（24年3月末）の外貨建て資産を有していることに伴い（一部為替予約等によるリスクヘッジ有）、為替相場の変動により為替差損益が発生

※2 為替差益として7百万円、持分法による投資利益1百万円を計上

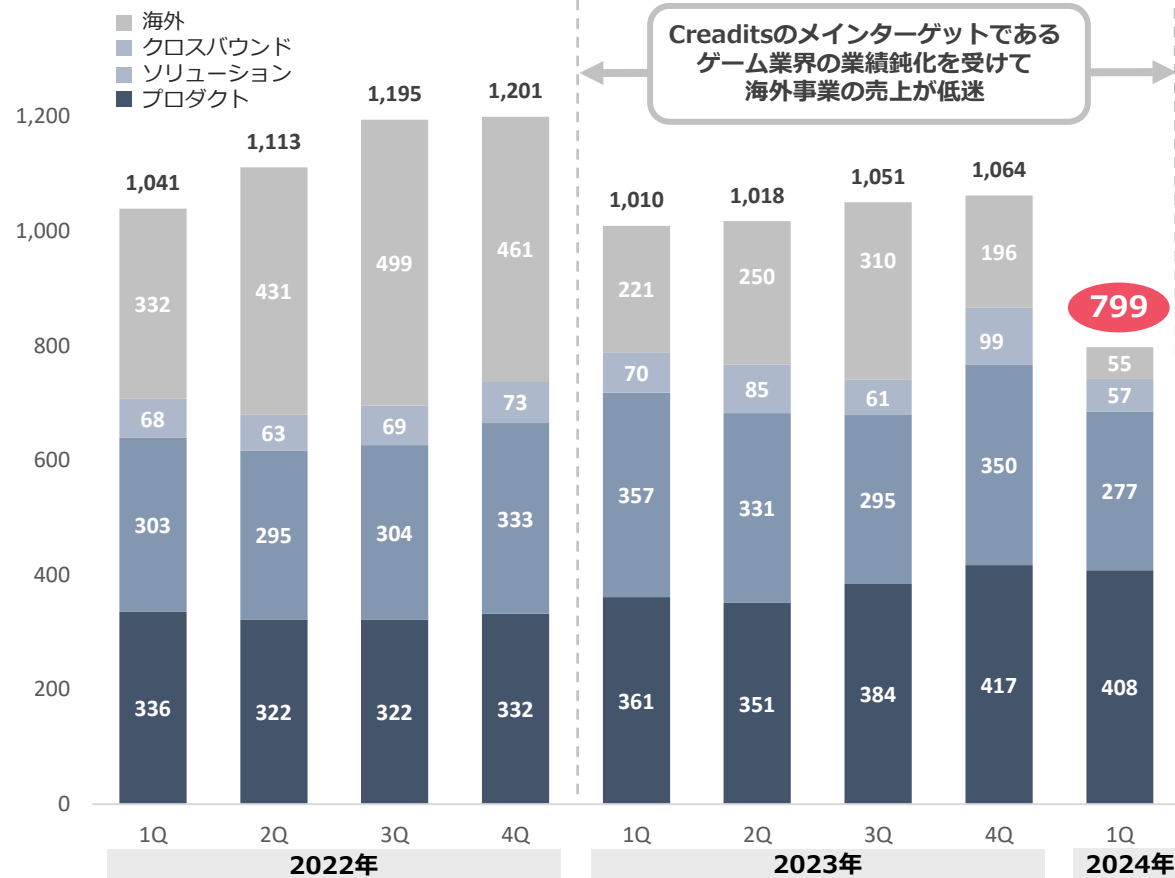
※3 為替差益として101百万円、持分法による投資損失4百万円を計上

2022年8月1日付株式会社デジタルチェンジとの企業結合について、前連結会計年度に暫定的に行っていた会計処理を3Qにおいて確定。のれん及び顧客関連資産の金額が変更となり、合わせて前3Q以降ののれんの償却額及び顧客関連資産の償却額を遡及修正。百万円以上の修正が発生した数値（営業利益率は小数点第1位に変更があった場合）のみに*を添付。

1Q売上は売上比率の大きいプロダクト事業のみ堅調なスタート。 海外事業の約3.4億円の赤字に伴い、1Q連結は営業赤字も概ね想定通りの推移

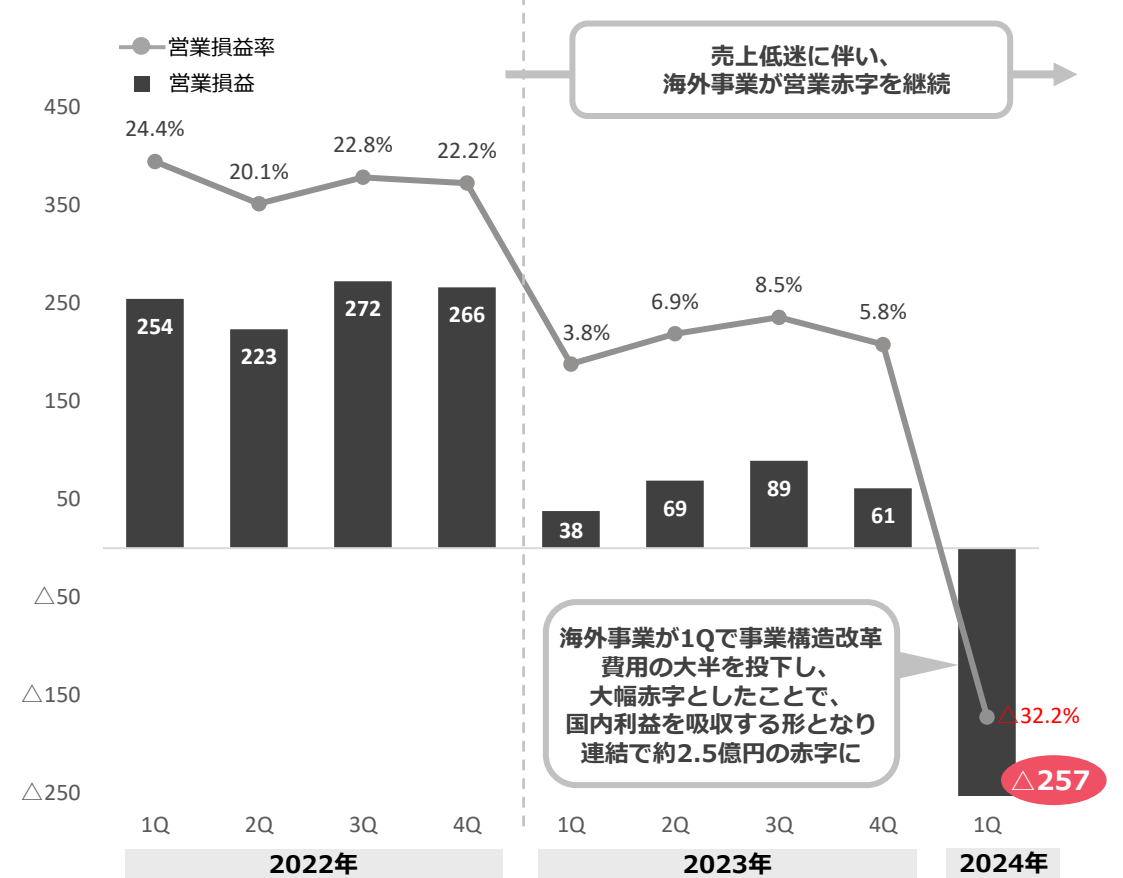
売上高

(単位：百万円)



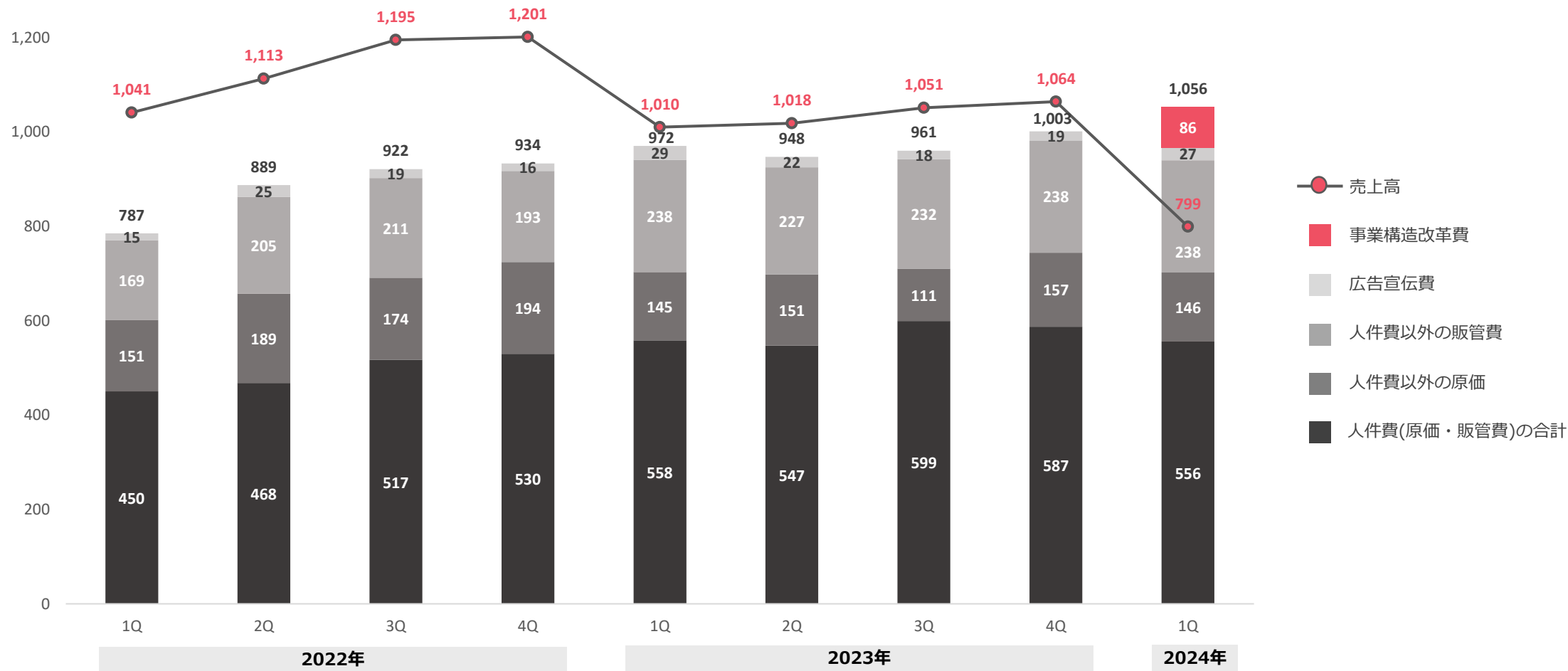
営業損益・営業利益率

(単位：百万円)



海外事業の事業構造改革にかかる費用の大半（0.86億円）を1Qに計上。 2Q以降は全社で筋肉質なコスト構造への転換を目指す

(単位：百万円)



事業構造改革のため現預金を増やしたものの、純資産は6割以上であり健全な財務状況

2023年4Q末

(単位：百万円)

現預金 1,844	借入金 268
	その他負債 744
	純資産 3,096
その他 流動資産 1,504	
固定資産 760	

資産

負債/純資産

2024年1Q末

(単位：百万円)

現預金 2,318	借入金 754
	その他負債 896
	純資産 2,790
その他 流動資産 1,255	
固定資産 867	

資産

負債/純資産

グループ方針・業績予想



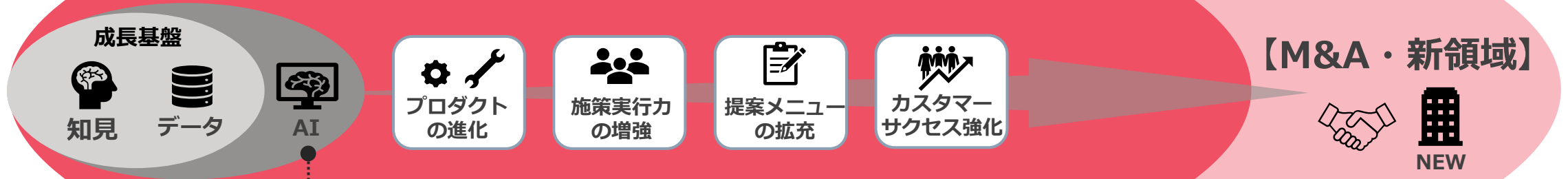
3

中期テーマ

マーケティングDX支援企業として 圧倒的ポジションの確立

マーケティングDX支援事業のオーガニック成長に加え、
M&A・新領域の開拓による業容拡大を模索し、非連続成長を実現する

【オーガニック成長】



AI導入によるプロダクト進化
・業務効率化を2023年に推進。
今後も着実に実施していく

M&A方針①

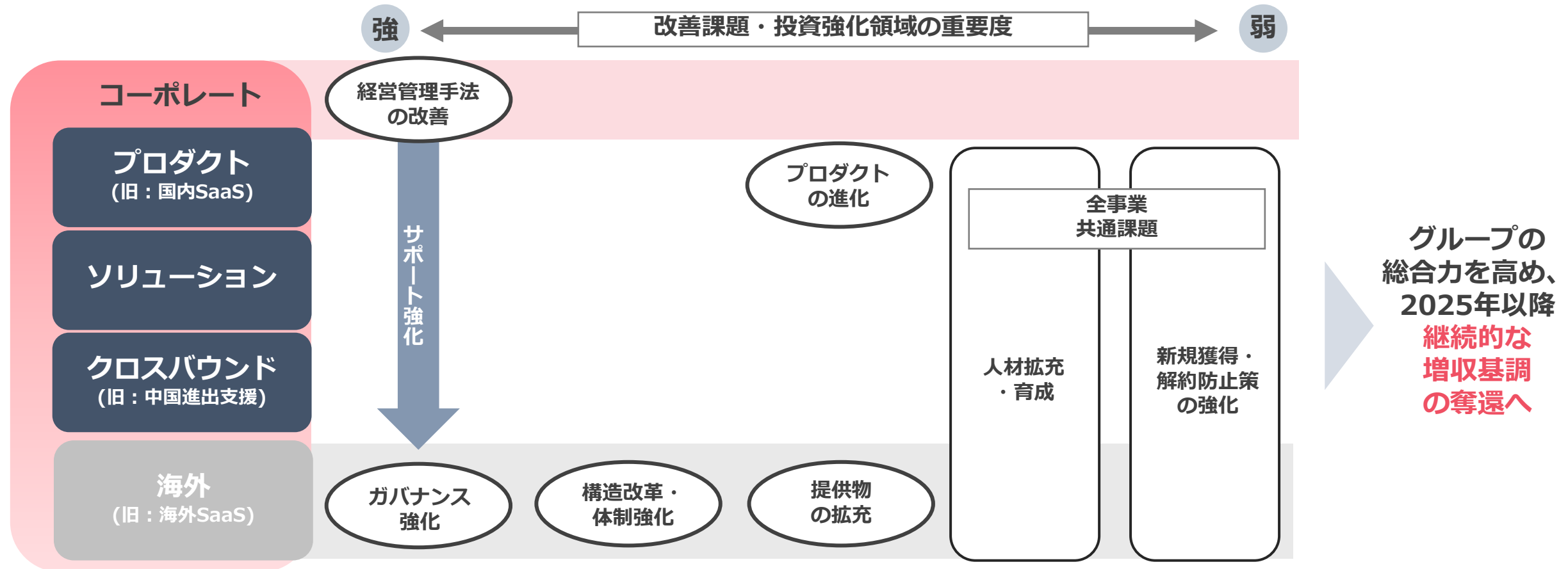
既存事業とシナジーの高い企業の獲得を検討

M&A方針②

新領域の事業性質を持つ企業の獲得を検討

2024年 新方針

事業体制の再編により グループ全体を構造改革

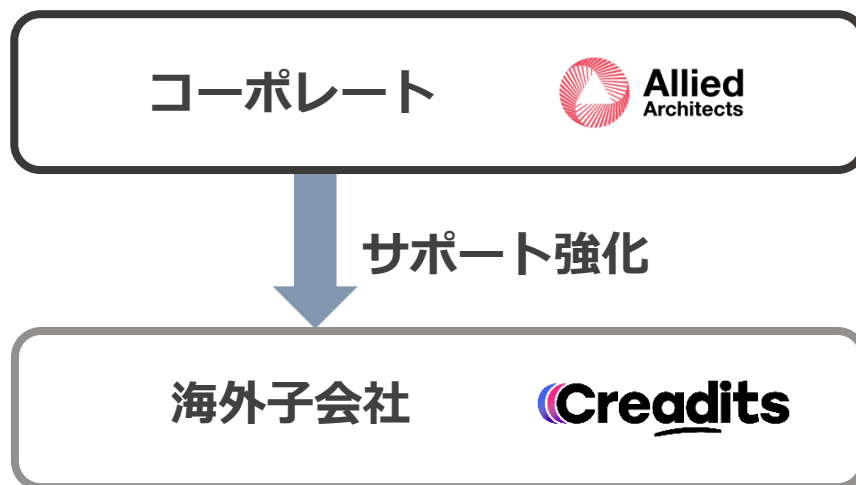


2024年
上期戦略

海外子会社Creaditsの再構築に向けた 徹底的な膿出しとコーポレートとの連携強化

前期から業績不振が続く海外子会社CreaditsのCEOを1Qで変更し、経営体制を刷新。
コーポレートも役員体制の変更等、ガバナンス・管理機能を強化

1Qの
取組み



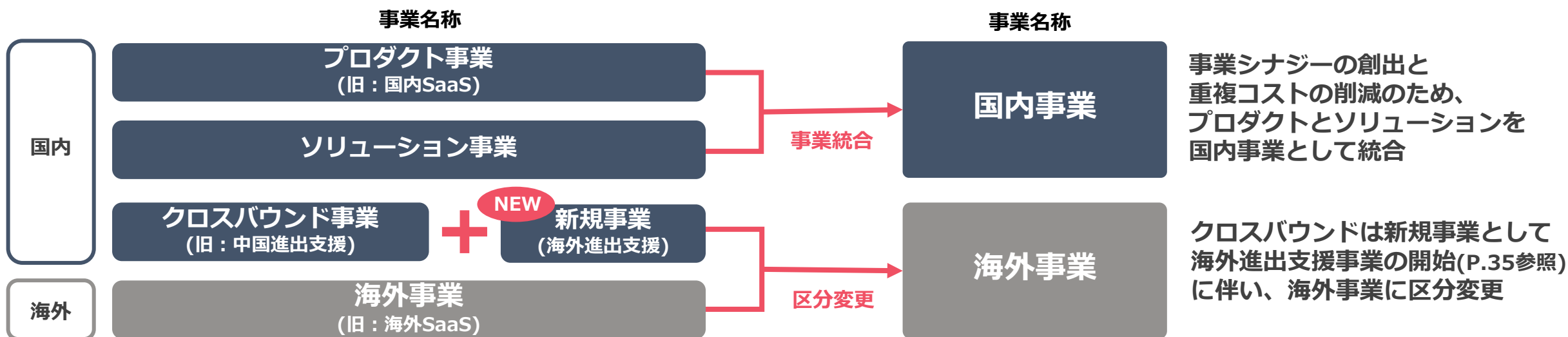
- ✓ 管理管掌役員の任命
- ✓ Creadits社を含む子会社のガバナンス・管理強化
- ✓ 事業構造改革推進に向けた経営企画機能の強化

- ✓ 経営チームの刷新(CEOの変更)
- ✓ 新体制移行に合わせたリストラ実施
- ✓ 既存顧客・契約内容の精査

2024年
下期戦略

事業体制の再編により通期連結黒字化を目指す

2024年3Q以降



国内・海外ともに事業シナジーを追求し、
来期以降の成長につなげる

国内は堅調を見込むも、海外子会社Creaditsの売上回復が2Q以降となるため減収減益の見通し。

Creadits社は上期中心に投資実施予定のため、連結業績は特に利益面において下期偏重の計画

(百万円)	2023年12月期実績	2024年12月期通期予想	
		想定為替レート：1ドル=140円	
			前期比
売上高	4,144	4,000	△3.5%
営業損益	258	250	△3.4%
経常損益	314※1	250	△20.4%
親会社株主に帰属する当期純損益	△146※2	50※3	—

売上高
40億円
予想の
内訳

期初
段階

国内3事業：過去最高の34億円(前期比+7.1%)・海外事業：6億円(同△38.1%)

- ◆国内事業にはクロスバウンド事業(旧中国進出支援事業)の新規事業『シンガポール進出支援事業』の業績見込みを含む
- ◆海外事業は売上苦戦傾向が継続見込み、2025年以降の再成長のために構造改革・体制強化への投資実施予定のため赤字継続の見通し

NEW

国内事業(プロダクト+ソリューション)：30億円・海外事業(クロスバウンド+海外)：10億円

- ◆クロスバウンド事業の新規事業『シンガポール進出支援事業』は海外事業の業績見込みに含む
- ◆海外子会社Creaditsは、2025年以降の再成長のために構造改革・体制強化への投資実施予定のため赤字継続の見通し

※1 為替差益として98百万円、持分法による投資損失32百万円を計上

※2 投資有価証券評価損47百万円、投資有価証券売却損72百万円、貸倒引当金繰入額92百万円を特別損失として計上

※3 特別損益が発生しなかった場合の見込み金額

各事業の状況



4



プロダクト事業

マーケティングDXに効果的な制作・EC・デジタル販促の3領域に特化し
成果向上に最適なプロダクトを自社で開発

Letroシリーズ

EC

主力

Letro

(2016年6月～)

Instagramの投稿やレビューなど顧客からのUGCを収集、ECサイトなどに反映できるツール

【月額課金+従量課金型】

ECサイト・LP経由での
新規顧客獲得件数増加



monipla
ファンブログ

SNS活用・UGC制作支援ツール

(単独での新規獲得は行っておらず、
主力「Letro」のアップグレード商材の位置付け)

動画制作

LetroStudio

(2020年5月～)

豊富なテンプレートと操作性の高い編集機能
で簡単に動画制作できるツール

【月額課金型】

動画広告・SNS・営業用資料等の
動画施策実行

販促

echoes

(2018年3月～)

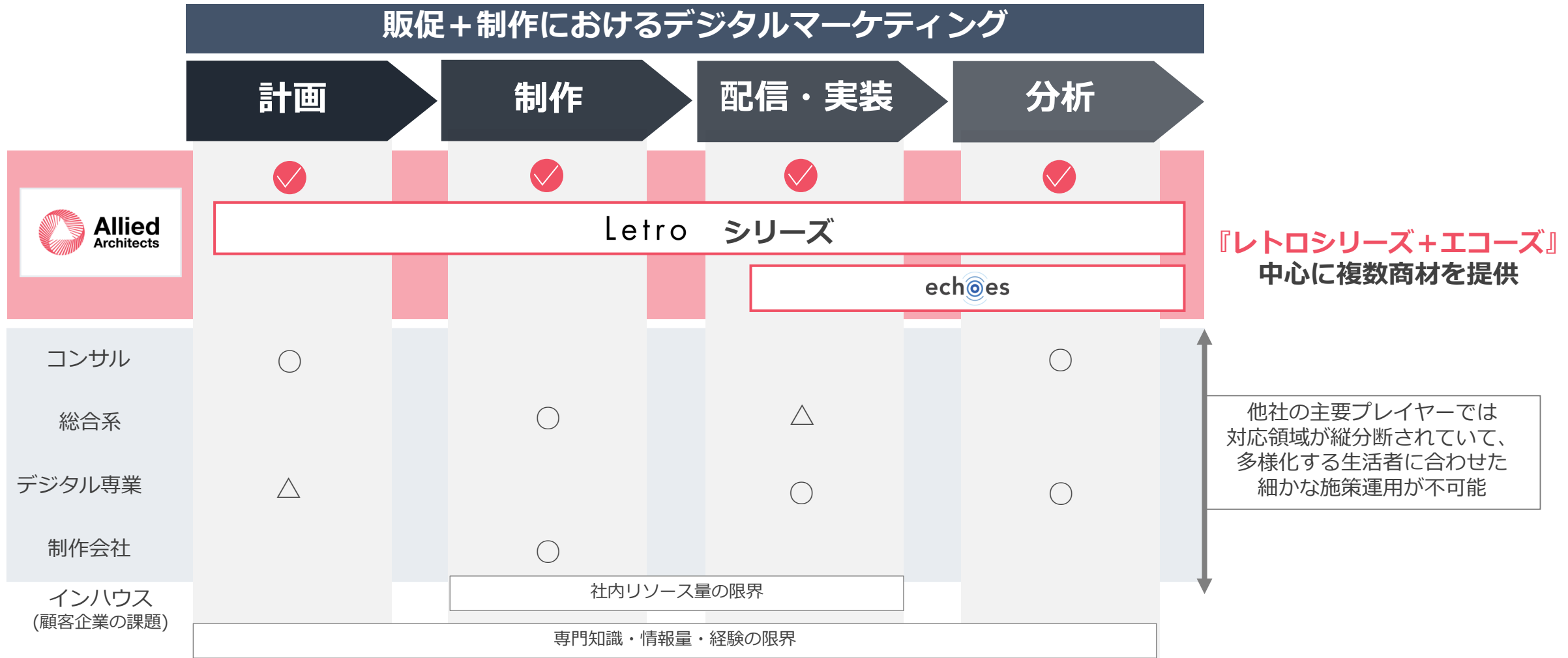
X(旧Twitter)やInstagram上で簡単
にキャンペーンを開催できるツール

【都度発注型】

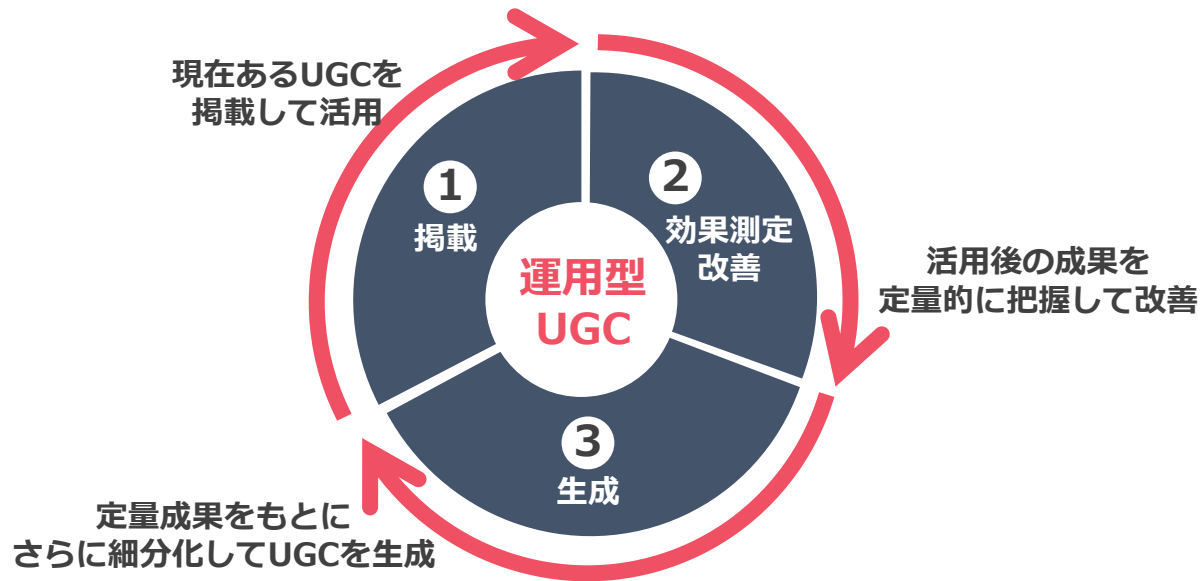
SNSを通したブランド認知拡大
オン・オフライン両面の集客強化

主要
ツール

従来は分断されていたマーケティング施策の実行を
マルチプロダクトの提供でワンストップ可能に



UGCを生成・活用するための最適な手段の提供により 顧客企業の売上拡大につなげる成果をもたらす



成果向上をサポートするCSM人材
(カスタマーサクセスマネージャー)



顧客メリット

売上拡大に直結する高い成果

継続的なPDCAによりCVR1.2倍に導く

Letro

提供開始

LPや記事LPの制作・運用サービス



2023年11月提供開始

レトロソリューション

LetroSolution

顧客の体験価値を具現化できる「UGC」を活用したLPの制作

Letro

提供開始

LetroEditor



NEW

2024年3月提供開始

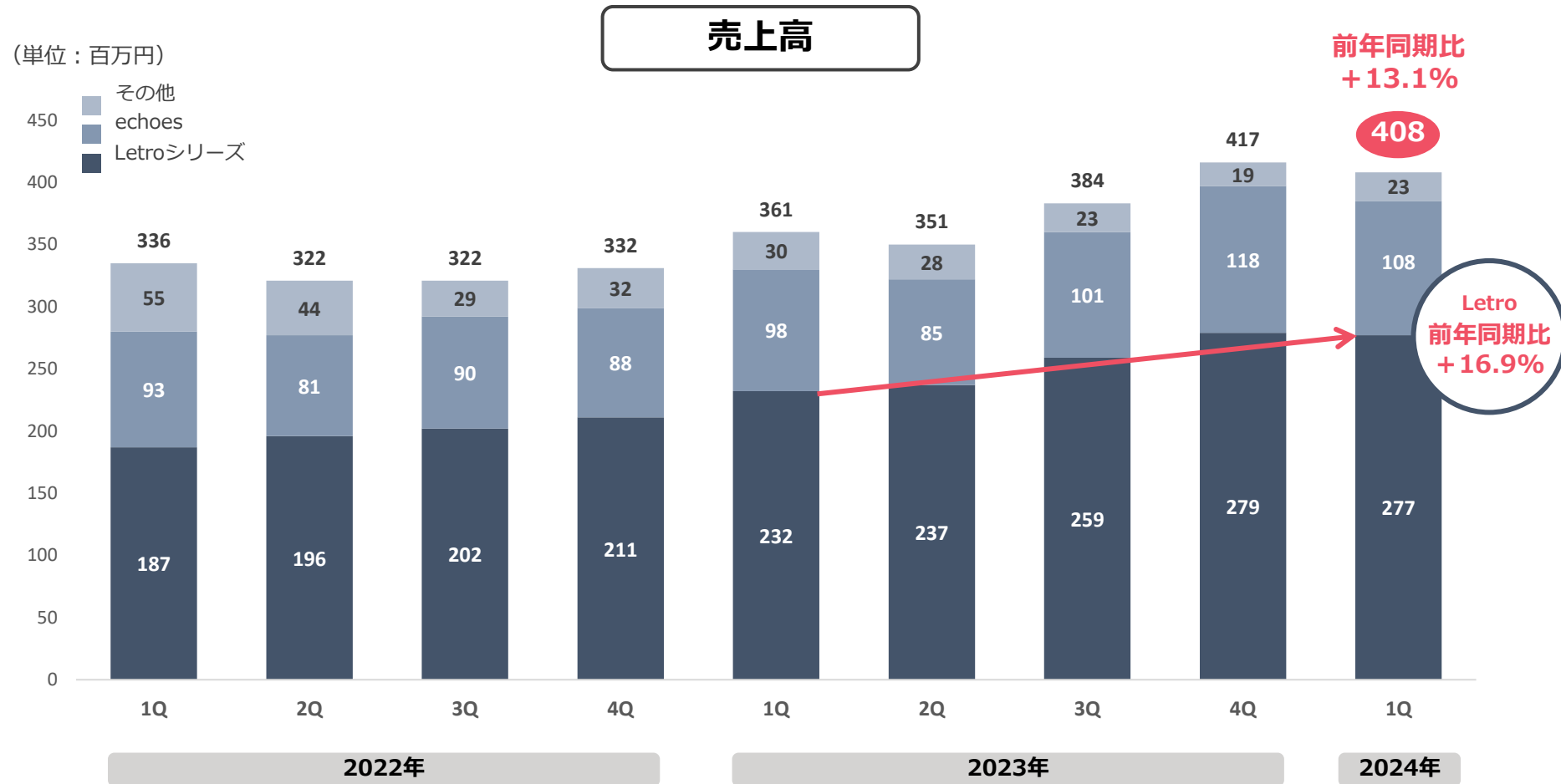
レトロエディター

LetroEditor

Webサイトをコード不要で編集できる機能

顧客ニーズを迅速に反映して今後も新機能を拡充予定

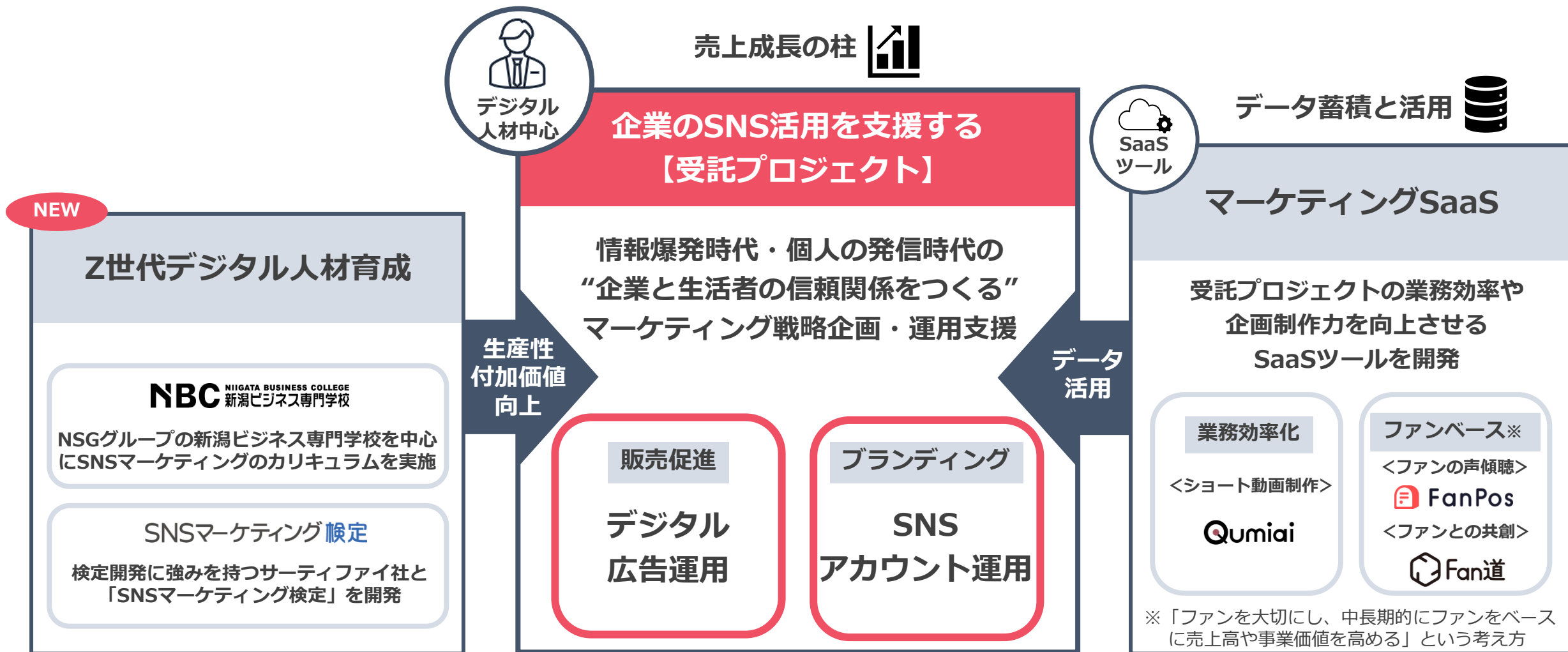
事業全体の売上高は堅調を維持。
特に主力の「Letro」が前年同期比+16.9%の成長で事業を牽引



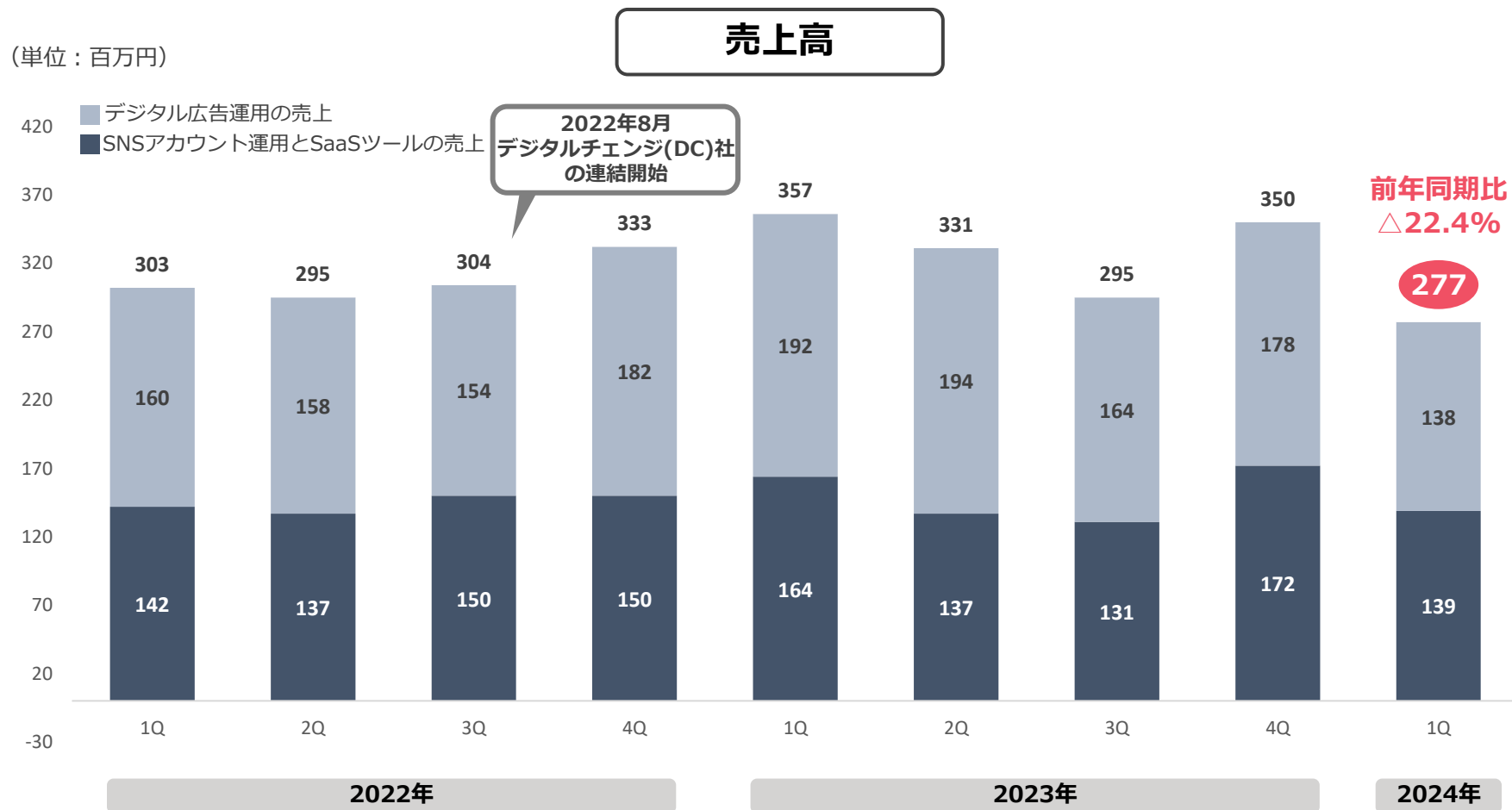


ソリューション事業

顧客企業のSNS活用を支援する【受託プロジェクト】を中心に展開。
昨今では「SaaSツールの提供」や「Z世代デジタル人材育成」も推進



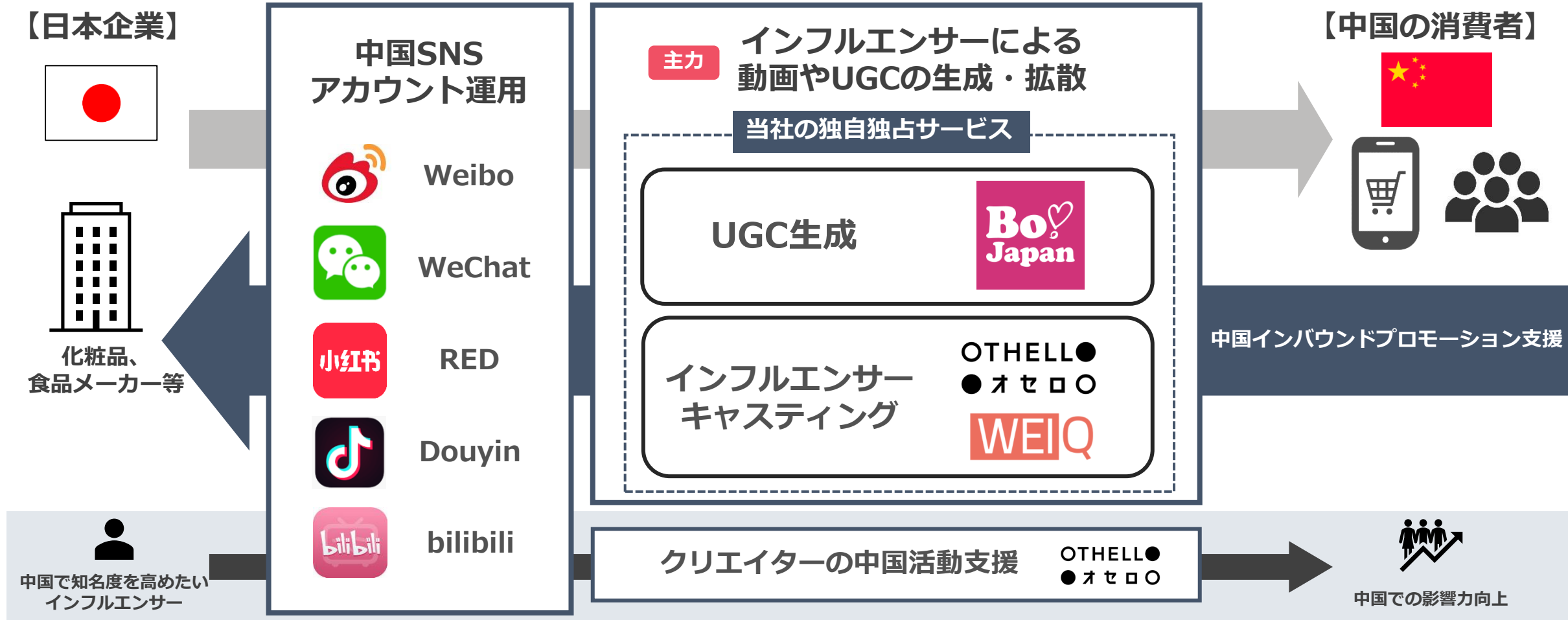
デジタル広告運用の減収要因は、1Qにおける季節性の収益機会である クライアントの期末残予算獲得の不調





クロスバウンド事業

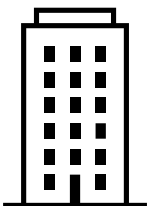
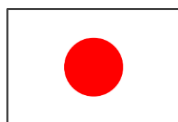
中国SNSのアカウント運用とインフルエンサーの活用による 中国越境ECプロモーション支援と中国インバウンドプロモーション支援を展開



2024年は新規事業として、海外進出支援事業を開始。

2024年2Qから売上計上予定

【日本企業】



NEW 海外進出支援

シンガポールに子会社を持つ強みを活かし、
日本企業向けに
『シンガポール進出支援事業』を開始

AlliedVerse

(海外連結会社)

2022年5月にシンガポールに
設立した子会社



BOOK&ENTRIES CAPITAL

(海外連結会社)

2024年3月にシンガポールで
M&Aした子会社

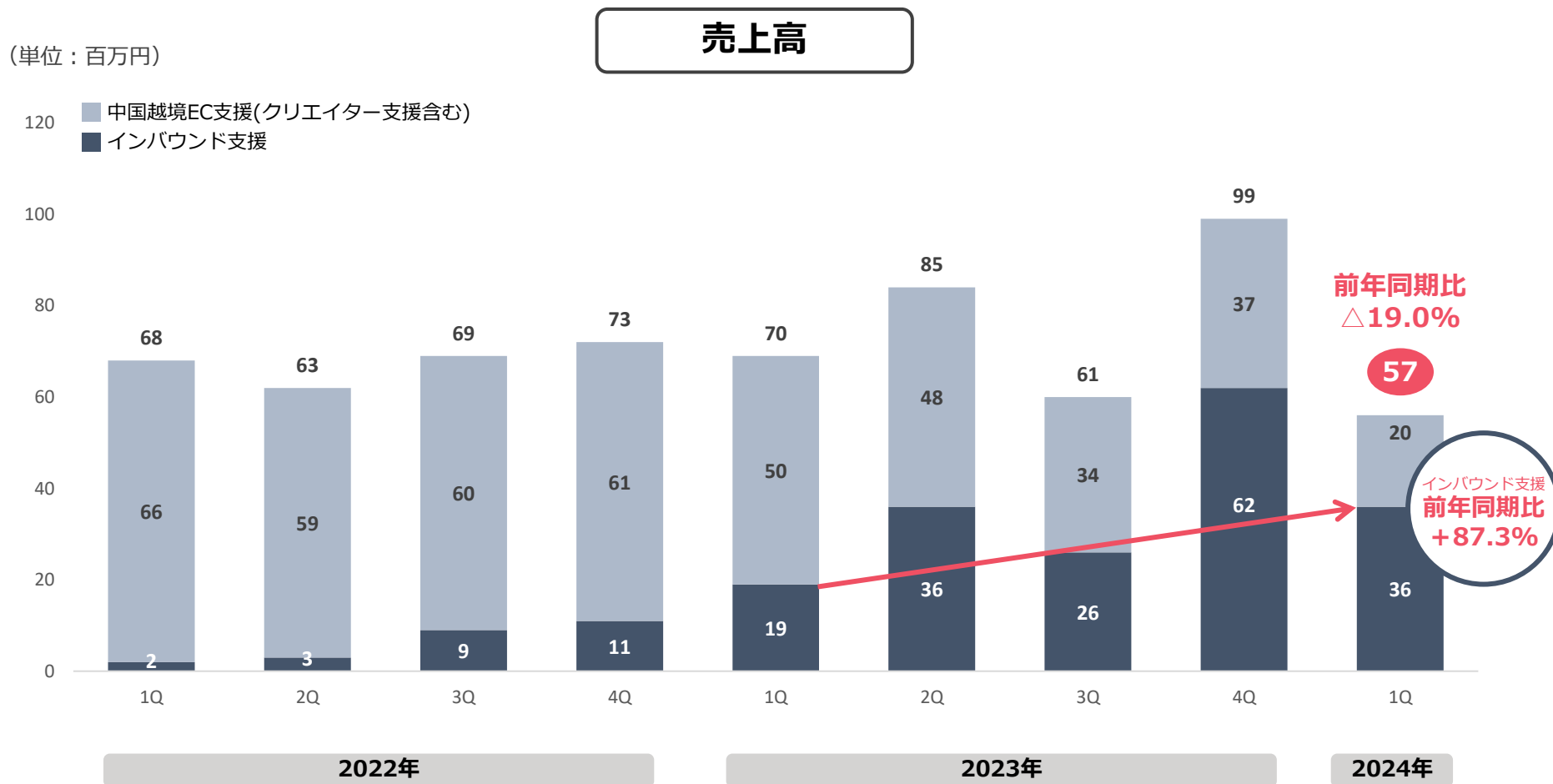
2024年1Q～連結開始
2024年4月～売上計上開始

【シンガポール進出】



(2024年連結通期業績予想は、当新規事業の売上高見込みを含む)

処理水問題の懸念が引き続き影響し越境EC支援は復調ならず、事業全体の1Q売上は苦戦も インバウンド支援は需要活発化で前年同期比+87.3%の成長

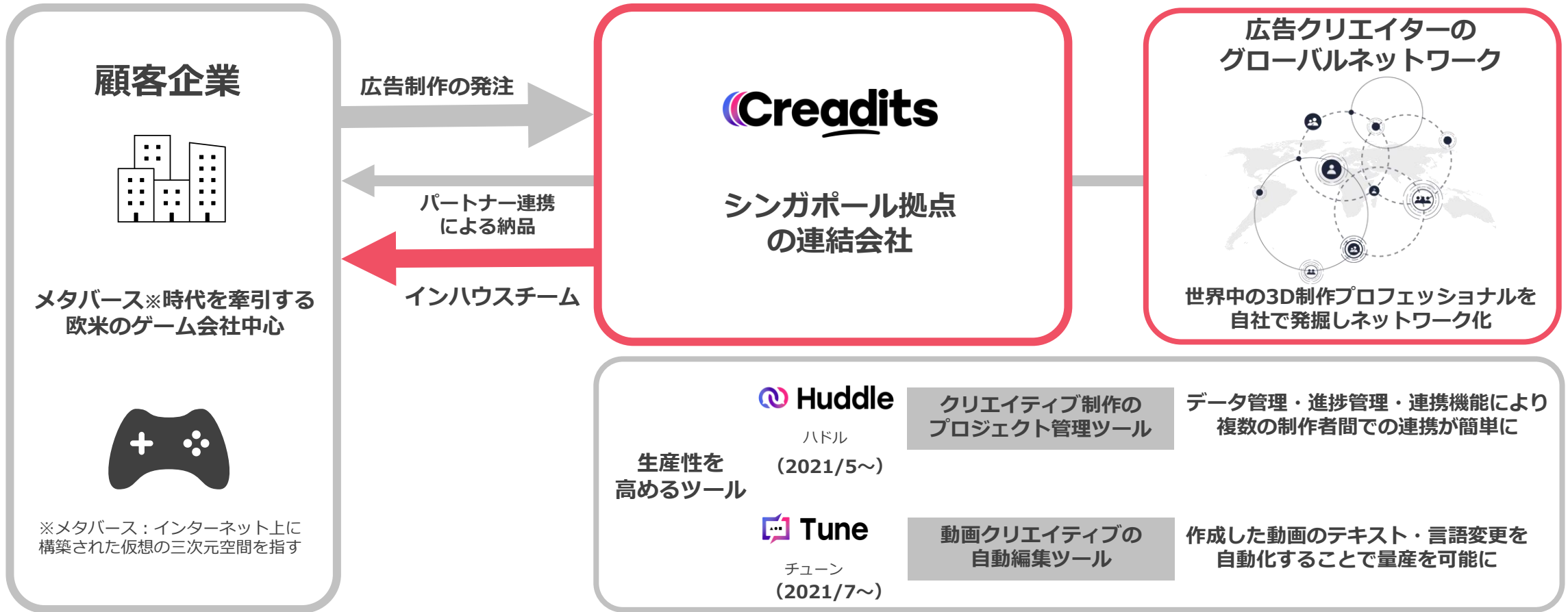




海外事業

3D広告クリエイティブ制作における 高品質・ハイスピード・低価格を実現する仕組みをグローバルに提供

クラフト
主力 Craft 【月額課金+従量課金型】【都度発注型】

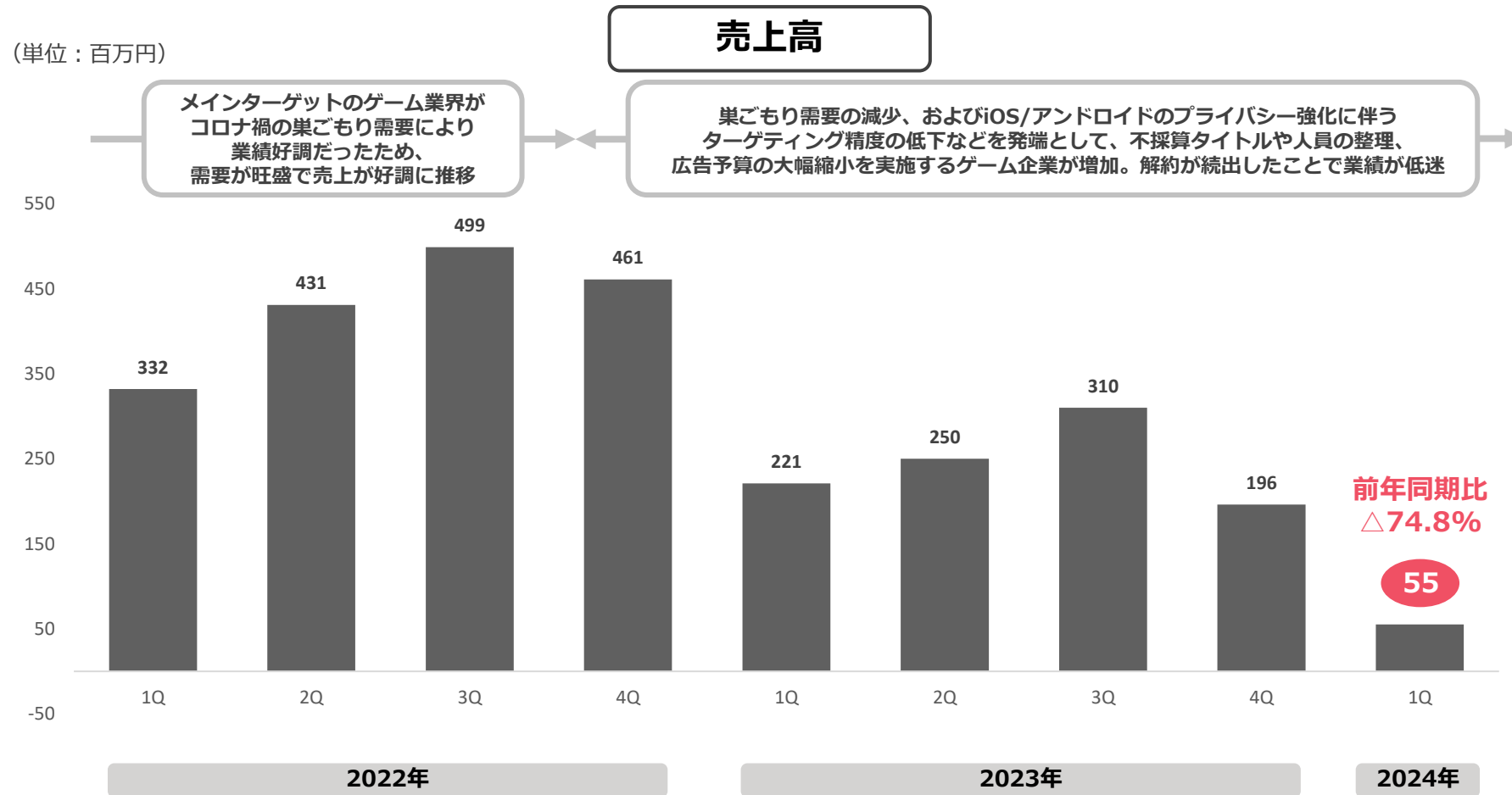


新興国分業体制による

『リモートでつながったマイクロファクトリー(小型制作工場)』を構築



新規顧客獲得及び新規受注は好調ではあるものの、大半の納期が2Q以降のため 1Q売上高は前年同期比△74.8%にとどまる



※2024年1Qでの為替レート：1ドル=151.23円



Allied Architects

【IRに関するお問い合わせ先】
アライドアーキテクトIR担当
ir@aainc.co.jp

免責事項

この資料は、アライドアーキテクト株式会社（以下、当社）の現状を理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

また、本資料に掲載・引用しているロゴ、会社名、商品名等は、各社の登録商法または商標です。